

タットン会 通信

2013.

11.16

タットン会ホームページ [タットン会](#) と入力すると検索でき、**会の趣旨**や**開催日時**などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することもできます。

※ **活動中などの写真掲載等をご辞退なさる方は、事務局員**にお申し出ください！（事務局は青バッチです）
 (10/19の参加費は5,400円 募金は600円 **義援金**は100円でした。参加者総数は40数名でした。)

肌寒さも入り交じってきた10月19日、ニュースでは、伊豆大島に大きな被害をもたらした台風の事が取り上げられて…。京急の県立大学駅近くでも崖崩れがあって、電車が一時止まってしまうこともあり、自然の怖さを感じながらの127回目のタットン会でした。

卓球・バドミントンそれぞれのコートでは、いつもより少なく人数的にはちょうど良い40数名（チャレンジャーさん18名）の参加者で、チーフは平野さんと初の魚地さんでした（右写真）。



卓球では、3人のチャレンジャーさんと3人のボランティアさんとで、ローテーションをしながらの打ち合いをしてみました。今までは、前半後半の時間（1時間くらい）をほとんど同じパートナーで対応していましたが、時間を区切ってローテーションをしながら相手を変えていくことにより、「新鮮さ」や「多くの気づき」「多くの人との触れ合い」が出来、これまた**新しい試みとして良い刺激**になるものと感じます（誰でも同じようには、出来ないとは思いますが…）。

2007年の3月から参加しているTさんは、バドミントンを行っています。はじめの数期間は少し打ったら床に座り込んだり、すぐに休憩をとる～という繰り返しをしていました。ところが、継続して5年目くらいから座り込むことや休憩も少なくなり、この2年間は数人しかいない「皆勤賞」を連続してもらっています。お歳はタットン仲間の最高齢！？ そのTさんがなんと彼女自身79回の継続回数新記録を樹立したとのこと！！驚きです。たとえ月に一回のタットン会で、**年数はかかっても『継続の力』**なのですね！

前回の反省会で「パラシュートは、全体の片づけの見通しが出来てからにしよう！」ということになり、**チャレンジャーさんにも可能な限り片づけを手伝ってもらう取り組み**をしました。

すると、どうでしょう～以前から率先して片づけを手伝ってくださる方もおりましたが、参加者ほとんど全員で卓球の防球ネットを運んだり、バドミントンの支柱を運んだり、ネットをたたんだり～、当たり前のように手伝ってくださっていました。その光景は、とっても清々しく…おかげさまで片づけも早く終わりました。

毎回、新しい何かの発見に気づき、何か生まれてくるタットン会～本当に色々学ぶことが多いのです！！

チーフからのコメント

前々回のサブチーフに続きチーフを務めさせていただきました。毎回このようなポジションになる度に「こんな感じで良いのかな？」と思いながら、周りの人達に支えられつつ終わった後に安堵しています(笑)今回は1年生の魚地君とのタグということでもいつも以上に新鮮な気持ちで進行することができました。初めてサブチーフをした魚地君、お疲れ様でした☆ (平野沙織)

今回は、サブチーフとBコートのボランティアを務めさせていただきました。チャレンジャーさんから話しかけてくださったり、ラリー中一緒に声を出して数えてくださったりして、嬉しかったです。また、サブチーフとして全体を見渡すことができ、今まで接することの無かった方の様子や他のボランティアさんがどの様に接しているかなど、とても勉強になりました。最後に、初めてのチーフ業と言うことで、仕事の内容等教えてくださいました。平野さんありがとうございました。(魚地晃彦)



感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャーさん 18名参加

- ※1. バドミントン〜79回のラリーが続きました（過去最高）。後半も平均20回くらい続きました。打っている最中に笑顔を見ることができて、とても嬉しかったです。構えをするようになりました。（H様）
- ※2. 今回も卓球をやりました。ラリーが10回以上続くことも！時間が経つほど上手くなりました。「こうしたら良いかも!？」というアドバイスを真剣に聞いてくれました。上達も早かったです。（O様）
- ※3. …目標の60回には届きませんでしたが、ずっと集中していました。…目線に壁があった方（壁側を向いた位置でプレイした方）が集中できるかも知れません。（W様）
- ※4. 大成功!! 念願のサーブからラリーを始めることが出来ました。20回続いたのが二回ありました。少し疲れたのか、少し早く終了しました。今までノーバウンドから始まっていますが、少し成長を感じ（一歩前進）嬉しかった二人でした。（K様）
- ※5. バドミントンで「膝を曲げて待つ」ということを一緒にやりました。一步目の反応が、少し良くなったかなと思います。マメが出来てきています。本人が真剣に取り組んで楽しんでいるのがすごく伝わってきて、私も嬉しかったです。（I様）
- ※6. バドミントンでラリーと試合をやった。最後の片づけの時に、重そうな棒（支柱?）を持っている人を見て手伝ってくださっていたので素敵でした！（W様）



余暇活動

NO83

タットン会に参加するようになってから9年以上経ちました。その年月の間、僕自身の環境もずいぶん変わりました。学生から社会人へ、実家暮らしから一人暮らし、そして二人暮らしへ。そんな中でもタットン会に変わらず参加し続けていられるのは何故なのかということを考えてみます。

スポーツをすること、障がいのある方とふれあえること、そして何よりも同じ活動をする社会人・学生と交流できること。

当たり前と思っていたことでも、改めて考えるとこれらは結構すごいことなのかなと思います。どうしても仕事中心の生活になってはしまうので、その中でこういった活動ができる環境があることに感謝しています。 平野 厚



《本日 11月16日の時程 チーフ 井口啓一 魚地晃彦 》

- 9:30 ペア組（カード確認）・体操、各種目へ
- 10:20 休憩（数回とるかも知れません）
- 10:35 後半の部
- 11:05 パラシュート・片づけ・モップ、感想カード記入
- 11:20 手話コーナー・けがの確認・感想
- 11:40 解散（時間は多少前後します）

— お知らせ —

今年度、県立保健福祉大学HSCクラブが「神奈川心身障害児福祉基金財団」より助成金を受けて活動しています。

《 2013年度の予定 》

128回目 12/21 129回目 2014年 1/25 決定（年間活動計画 反省会）
2/8or15or22 3/15or22or29 文責 佐藤一雄